

2019年度第9回価格審査会の開催について

2019年度第9回価格審査会が開催されましたので、議事概要についてお知らせいたします。

この価格審査会は、当財団の価格情報誌の発行前にその掲載価格の妥当性等について、外部の有識者によって審査を行うものです。

開催日時	2019年12月13日(金) 10:00～11:30	
場 所	一般財団法人建設物価調査会 会議室	
委 員	柳 泰彦	株式会社日本設計 コスト設計部長
	江川 浩	東日本建設業保証株式会社 業務部 副部長
	桜井 力	一般財団法人日本建設情報総合センター システム事業部門 コリンズ・テクリスセンター長
	関口 司	東日本旅客鉄道株式会社 東京工事事務所 次長
当 会	共通資材調査部	部長：大谷 忠広、次長：川野辺 豊、課長：小林 法雅
	第一土木調査部	課長：船田 誠
	建築調査部	部長：足利 全教、次長：渡辺 弘一、課長：島田 理久
	監査審査室	室長：後藤 裕
	調査統括部(事務局)	部長：神田 尚昭、課長：菊池 信博

2019年度第8回価格審査会議事録(案) 確認

2019年度第9回価格審査会審議資料説明

審議資料の説明	
1.	「建設物価」1月号、「Web 建設物価」1月号、「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向
・	価格が上伸した資材は、ステンレス鋼(全都市)、伸銅品(全都市)、レディーミクストコンクリート(八雲、市川、船橋、木更津、松戸、柏、横須賀、新潟、十日町、鈴鹿、名張、伊賀、長浜、亀岡、直方、田川、宮崎、西都、高鍋、薩摩川内、奄美)、再生砕石類(むつB)、仮設・土木用木材【切丸太(杉)】(関東の各都市)、自由勾配側溝(那覇)、電気用裸導線(全都市)、燃料(軽油ローリー渡し)(全都市)、鉄スクラップ【鉄】(全都市)、非鉄スクラップ【銅】(東北を除く各都市)などであることを説明。
・	価格が下落した資材は、異形棒鋼(北陸、中部、近畿、中国、四国の各都市)、H形鋼(北陸、中部の各都市)、鋼板(東北、関東、北陸、中部の各都市)、レディーミクストコンクリート(徳島、阿南)、鉄スクラップ【ステンレス】(関東、中部、近畿、四国の各都市)、非鉄スクラップ【アルミ】(東京、新潟、名古屋、大阪)などであることを説明。
・	価格が上伸した工事費は、【土木コスト情報：市場単価】インターロッキングブロック工、【建築コスト情報：市場単価】鉄筋工事、コンクリート工事(打設手間)、型枠工事、左官工事、ケーブルラック工事などであることを説明。
2.	注目資材
・	鉄スクラップ【東京】
・	左官工事(建築市場単価)【東京】
3.	比較資料
・	企業物価指数、モニター調査結果、業界紙との比較結果について説明。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 1	市場単価に公共工事設計労務単価は反映されているのか。	市場単価は元下間の取引実績（契約実績）に基づく単価であり、公共工事設計労務単価が直接反映されている訳ではない。土木工事標準単価は、機材を積み上げて算出しているため公共工事設計労務単価が直接反映されている。
審議 2	新潟地区の生コン価格は上昇傾向にあるが、12,000 円まで戻ると予想しているのか。	どの程度まで価格が上伸するかは予想できないが、協組は当面 1 万円を目標にしているようである。今後も需給や員外社等の動向を注視したい。
審議 3	生コン規格の「18-18-25」は、なにを示しているのか。	左から順に、強度、スランプ値、粗骨材のサイズを示している。地区によって代表する規格は異なる。
審議 4	肥料は、外国から輸入しているのか。	主に中国から輸入している。
審議 5	伊賀、名張地区の生コン価格は以前から高い水準にあったが、さらに上伸した理由はなにか。	需要減少に伴う固定費率、骨材やセメントなどの原材料価格、輸送コストが上昇したためである。また員外社が県内に 2 社しかないことも影響している。
審議 6	左官工事がほぼ 1 年ぶりに上伸したが、この価格で落ち着きそうか。	入職者の減少と職人の高齢化を背景として、単価は現状のまま推移する公算が大きいですが、今後の労務需給の状況によっては、さらに上伸する可能性がある。
審議 7	台風 19 号の影響がこれから資材等の需要面に出てくると思われるが、既に何らかの兆候は表れているのか。	台風 19 号の影響は、発災直後に被災地でブルーシート、土のう、コンクリート型枠用合板などでややひっ迫がみられた。今後も需給動向について注視していきたい。
審議 8	鋼材製品は、総じて下落傾向を示しているのに、月積みエキストラが上伸した理由はなにか。	高炉メーカーが運搬コストの上昇などを理由に一部の地域エキストラを見直したことによる。
審議 9	鉄スクラップは上伸と下落があるが、鉄が上伸しステンレスが下落したということか。	その通りである。
審議 10	金属工事（エキスパンションジョイント）でも上伸と下落があるが、これはジョイントの種類によるものか。	トップシェアのメーカーが、価格体系を見直したためである。
審議 11	鉄骨工事・耐火被覆工事・ALC 板工事の公表価格の最大変動率が大きいですが、最も上伸した地区はどこか。	地区毎ではなく規格毎にメーカーが公表価格を見直した事による。
審議 12	鉄骨工事・耐火被覆工事・ALC 板工事はいずれも公表価格だが、なぜ調査価格ではないのか。	取引実績が少ないなど、継続的に実勢価格を捉えにくいものに関しては、公表価格で対応している。

審議事項	委員の意見、質問	建設物価調査会説明・回答
審議 13	東京 17 区が生コンで、「来年 4 月受付分より 1,000 円の値上げを表明」とあるが、すでに駆け込み需要は出ているのか。	今のところ駆け込み需要は見られないが、値上げ直前の来年（2020 年）3 月頃から出てくるとみられる。協組は、今回の駆け込み需要の適用には厳格に対応する方針である。
審議 14	粘土がわらの建設物価価格指数が大幅に上昇した理由は、台風 15 号の影響によるものか。	かわら離れによる需要低迷や輸送コスト上昇などの環境のなかで、経営を維持するために値上げで対応せざるを得なくなった結果である。台風 15 号の影響として、かわらをふく作業員の不足などが生じているが、かわらの需給に問題はない。
審議結果	「建設物価」1 月号、「Web 建設物価」1 月号、「土木コスト情報」冬号、「建築コスト情報」冬号の価格動向に問題はなかった。	

以 上